



わっやま夢の学び舎

松原

学校通信まつばら 2月号
令和3年 1月29日 (第433号)

世田谷区立松原小学校
校長 尾上 佐智子
〒156-0043 世田谷区松原5-4 3-2 6
TEL 3322-0191 FAX 3322-4351
URL <http://school.setagaya.ed.jp./maba/>

題字は、彩の会 竹尾昭子先生にお書きいただきました。

「学校ならではの」「学校でしかできない」学び

副校長 久野 浩誉

「学校って何をするとところ？」そう聞かれたら、私は今まで迷わず「勉強をするとところ」そう答えてきました。しかし、コロナの影響が1年間続いた今、その考えに少し変化がありました。

「学校は、人と人がかかわり合いながら勉強をするとところ」これからはそう答えようと思います。勉強は一人でも、家にいてもすることができます。しかし子ども一人ひとりが多くの子とかかわり合い、共に学ぶことは、学校でしかできないことです。

6年生の体育「バスケットボール」では、ゲームで勝つためにチームで作戦を考えるという活動があります。そしてゲーム中には、試合に出ていない子が外から声を掛けます。ここにはチーム内でのかかわりが見られます。3年生の国語「詩の工夫を楽しもう」では、冬についての詩を書き、作った作品を友達同士で見合い、いいなと思った作品にシールを貼るといった活動が行われています。子どものよさに着目したかかわりです。4年生の特別活動「クラスの子ども会を成功させよう」では、誰もが楽しめる子ども会を創るために子ども自身が司会をしながら、話し合いをすすめていきます。これは、クラスをよりよくするために全員で話し合うというかかわりです。

一人の学びを大切にしながら、そんな「かかわり」を意図的に授業の中に組み込んでいくことこそが、これからの学校にとって重要なことなのだと改めて感じています。そしてそのかかわりは、違う価値観をもつ者同士が共に社会生活を営むための土台となります。

本来ならば、この3学期、そんな「子ども同士のかかわりを通じた学び」を、学校公開における授業の中で保護者の皆様にお見せすることができたはずでした。しかし現況ではそれを断念せざるを得ません。とても残念に思います。その中であっても、そんな中だからこそ「学校ならではの」「学校でしかできない」学びはこれからも大切にしていきます。

<2月の行事予定>

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1日(月) 全校朝会 あいさつ週間始(3年) | 15日(月) かたづけ週間 社会科見学(5年) |
| 2日(火) クラブ活動 なかよし班 班長会議 | 16日(火) クラブ活動(3年生見学) なかよし班 班長会議 |
| 4日(木) 出前授業(3年) | 17日(水) 社会科見学(3年) |
| 5日(金) 読書旬間終 あいさつ週間終
新一年生保護者説明会(資料配布のみ)
※1, 2年4時間授業 | 18日(木) 委員会・クラブ発表集会 |
| 8日(月) 全校朝会 学校運営委員会 | 19日(金) かたづけ週間終 二分の一人成人式(4年) |
| 9日(火) クラブ活動 避難訓練 | 22日(月) 委員会活動 |
| 10日(水) B時程 安全指導日
多文化体験教室(4年) | 23日(火) 天皇誕生日 |
| 11日(木) 建国記念の日 | 25日(木) 社会科見学(4年) |
| 12日(金) なかよしタイム | 26日(金) 6年生を送る会 なかよしタイム |
| 13日(土) 土曜授業日 宇宙プロジェクト写真申し込み締め切り | 27日(土) 土曜授業日
薬物乱用防止教室(6年) |

【2月の生活目標】

<生活>最後までやり抜こう

<保健>心の健康を考えよう

<給食>食生活から風邪や感染症を予防しよう

【人格の完成を目指して】

2月のテーマ:『やり抜く心』

- ・心をしっかりもって、努力し続けるようになろう。
- ・自分の目標に向かい、努力し続けていますか？
- ・時々くじけそうになるけど、一步一步がんばりましょう。

元気なあいさつ —あいさつ週間—

4年担任 岩瀬めぐみ

3学期のスタートである1月、9日からあいさつ週間の当番を4年生が担当しました。

初めは、緊張して声が小さかった児童もいましたが、慣れてくるにつれて、だんだんと元気に大きな声であいさつができるようになってきました。大きな声で相手の顔を見てあいさつをすると、気持ちがよくなったとあいさつすることの良さに気付いたり、あいさつを返してもらえると嬉しい気持ちになったと振り返ったりする児童が多くいました。あと2ヶ月で高学年になる4年生です。気持ちの良いあいさつから受け取る清々しさをこれからも大切にしたいです。

図工の時間

図工専科 真田 由里

子どもたちに「図工って何する時間だと思う？」と聞いたとき、一番多く返ってきた答えは「作品をつくったり、見たりする時間」でした。しかし実際の活動の中の子どもたちは「つくる・みる」活動を一言では表せないほど豊かに繰り返してっています。新しい用具や素材に出会ったり、ひたすら木を切り・打つ行為に没頭したり、テーマについて深く考えたり、友達の表現に影響を受けたりしながら、中身の濃い図工の時間を過ごしています。

図工の時間が、言葉では表せないつながりを生み出し、お互いの考えや感性に触れる機会を増やし、それぞれの世界をつくり合う場となるよう、これからも目の前の子どもたちと、向き合っていきます。

持久走週間について

6年担任 宮林 清志

例年であれば、持久走週間を実施している時期ですが、校庭の工事の影響で運動場所が狭くなったことや、感染症対策のため、今年度は中止となりました。元気一杯に取り組む子どもたちの姿を見ることができないのは残念ですが、各クラスの体育の学習の中で、持久走につながる運動を、各学年の実態を踏まえて実施することとなりました。寒さで外に出ることをためらったり、限られた場所と時間の中で各学年の遊び場所を割り振っていたりするため、体を動かす機会が減っている現状があります。子どもたちの体力向上の機会を少しでも増やすために、学校生活の中で安全に留意した上で運動に取り組ませていきます。ぜひ、ご自宅でも無理のない範囲で子どもたちに運動を促していただきますよう、お願いいたします。